

教科目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てます				主な評価資料					
学習内容	歌唱	器楽(リコーダー・しの笛)	鑑賞	創作・楽典	歌唱テスト	器楽テスト	個人カード	プリント	学習態度
観点	評価規準								
音楽への関心・意欲・態度	B	<ul style="list-style-type: none"> 適した姿勢で歌おうとする。 口をしっかりと開け歌おうとする。 明瞭で歌うことができる。 積極的に声を出し、楽しく合唱しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 適した姿勢で演奏しようとする。 曲の最後まで演奏することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 記号の読み方・意味を理解しようとする。 階名・音名を理解することができる。 楽譜を写譜することができる。 				
	A	<ul style="list-style-type: none"> 適した姿勢で意欲的に歌おうとする。 口を緩にしっかりと開け母音・子音を明確に歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 適した姿勢で意欲的に演奏しようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> より多くの記号の読み方・意味を理解しようとする。 階名・音名を正確に理解することができる。 楽譜を正確に写譜することができる。 	○	○	○	○
音楽的な感受や表現の工夫	B	<ul style="list-style-type: none"> 歌の出だしを伴奏に合わせて入れることができる。 おおむね正確なフレージング、歌詞割りで歌うことができる。 強弱をつけて歌うことができる。 ふさわしい曲想で歌おうとする。 伴奏を聞きながら、合わせて歌おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> おおむね正確なフレージングで演奏することができる。 ふさわしい曲想・速度で演奏することができる。 拍を感じながら演奏しようとする。 豊かな響きで演奏しようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 強弱記号の意味を考えながら表現しようとする。 創意工夫しながら曲をつくらることができる。(短い作品) 				
	A	<ul style="list-style-type: none"> 歌の出だしを伴奏に合わせて正確に入ることができる。 正確なフレージング、歌詞割りで歌うことができる。 幅広く強弱をつけて歌うことができる。 ふさわしい曲想で表情豊かに歌おうとする。 伴奏を聞きながら、自分でテンポを感じ歌おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確なフレージングで演奏することができる。 ふさわしい曲想・速度で表情豊かに演奏することができる。 拍を感じながら積極的にテンポをとり演奏しようとする。 豊かな響き・音色で演奏しようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 強弱記号の意味を考えながらより豊かな表現しようとする。 創意工夫しながら曲をつくらることができる。(長い作品) 	○	○	○	
表現の技能	B	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな声量で歌うことができる。 曲に合った発声で歌うことができる。 正しい音程で歌うことができる。 リズムや音をほぼ正確に歌うことができる。 的確な場所でプレスをとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな音量で演奏することができる。 正しいタンギングができる。 ほぼ正確なアーティキュレーションで演奏できる。 リズムや音をほぼ正確に演奏できる。 的確な場所でプレスをとることができる。 正しい指使いで演奏することができる。 ミスが少なく演奏できる。 高音をひっきりかえらずにだすことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 音符・休符の長さを理解しながら曲を作ることができる。 				
	A	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな声量で身体全体から声を出し歌うことができる。 曲に合った発声でより響かせて歌うことができる。 伴奏を良く聴き、正しい音程で歌うことができる。 リズムや音を正確に歌うことができる。 的確な場所ですばやくプレスをとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい呼吸法を用い豊かな音量で演奏することができる。 曲に応じたタンギングができる。 正確なアーティキュレーションで演奏できる。 リズムや音を正確に演奏できる。 的確な場所ですばやくプレスをとることができる。 ミスすることなく演奏できる。 高音を美しくだすことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 音符・休符を有効に使いながら曲を作ることができる。 	○	○	○	○
鑑賞の能力	B			<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴をとらえ、音楽を鑑賞することができる。 楽器の音色や奏法、その音楽の時代背景や地域の特徴を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲の形式、楽器について理解することができる。 				
	A			<ul style="list-style-type: none"> 曲の特徴をとらえ、想像豊かに音楽を鑑賞することができる。 楽器の音色や奏法、その音楽の時代背景や地域の特徴を詳しく理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲の形式、楽器についてより詳しく理解することができる。 		○	○	